

東京大学大学院農学生命科学研究科
 応用生命化学専攻（食品生物構造学研究室） 助教 公募

1	職名	助教
2	募集人数	1名
3	採用予定日	令和6年9月1日以降のできるだけ早い時期（応相談）
4	任期	あり5年、再任可。ただし、1回限りとし、再任の場合の任期は5年（以内）
5	勤務地	東京都文京区弥生1-1-1 弥生キャンパス
6	所属□	大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 食品生物構造学研究室
7	業務内容	1) 農芸化学領域における食品物理化学および構造生物学 2) 担当予定講義・演習： （学部）生命化学・工学学生実験、生命化学・工学実習 （大学院）食品物理化学、天然物生理化学、Bioactive Molecules: Structures, Functions and Biosyntheses、応用生命化学特別実験I・II、応用生命化学演習、応用生命化学特別実験III、応用生命化学特別演習
8	就業時間	専門業務型裁量労働制（1日7時間45分働いたものとみなされます。）
9	休日・休暇	土・日、祝日法に基づく休日、年末年始（12月29日～1月3日） 年次有給休暇、特別休暇、忌引休暇 等
10	給与	学歴・職務経験等を考慮して決定。昇給制度あり。 参考 博士修了 34万円/月～ 諸手当、賞与（年2回）、通勤手当（原則55,000円/月まで）の他、本学の定めるところによる。
11	社会保険等	文部科学省共済組合、雇用保険（法令の定めるところにより加入）
12	応募資格□	1) 博士号取得者（または採用日までに取得見込の者） 2) 優れた研究業績を有し、研究と学生の教育指導に熱意を持って取り組めること 3) 分析化学・生化学・生物物理学・構造生物学的手法に精通しており、当該研究室の研究、特に膜タンパク質の調製および立体構造解析の推進に貢献できること 4) 上記7の講義・演習を担当可能なこと
13	提出書類	1) 履歴書（東京大学統一履歴書を以下のURLからダウンロードし作成すること。） https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html 2) 研究業績目録（学位論文、原著論文、著書、総説、特許、その他） 3) 教育業績目録（担当講義科目、非常勤講師等） 4) 社会貢献目録（学会活動、委員会活動等） 5) 主要著書・論文合わせて3編以内。 6) 研究計画（2000字程度） 7) 教育方針（1000字程度）
14	応募締切	令和6年4月15日（月）必着 書類選考の上、選考通過者には面接を実施します。
15	書類送付先 及び 問い合わせ先	〒113-8657 東京都文京区弥生1-1-1 東京大学大学院農学生命科学研究科 応用生命化学専攻 専攻長 永田宏次 TEL: 03-5841-1117 E-mail: aknagata[at]g.ecc.u-tokyo.ac.jp（[at]は@に置き換えてください） 紙媒体の提出は不要です。提出書類を一つのpdfファイルにまとめ、パスワードを設定した上でE-mail添付またはクラウド経由で送付し、パスワードを別メールで連絡してください。24時間以内（週末は48時間以内）に受取通知メールを送ります。受取通知メールが届いたことを必ず確認し、届かない場合はメールで問い合わせてください。
16	試用期間	採用日から6ヶ月間

17	募集者名称	国立大学法人東京大学
18	その他	<p>応募書類は返却いたしませんので、予めご了承ください。</p> <p>取得した個人情報は、本人事選考以外の目的には利用しません。</p> <p>東京大学は男女共同参画を推進しており、女性の積極的な応募を歓迎します。</p> <p>受動喫煙防止措置の状況：敷地内禁煙（屋外に喫煙場所あり）</p> <p>外為法等の定めにより、採用時点で、海外との兼業や、外国政府等からの多額の収入がある場合、研究上の技術の共有が制限され、本学教職員としての職務の達成が困難となる可能性があります。このような場合、兼業等については、本学における研究上の技術の共有に支障のない範囲に留める必要があります。</p> <p>英語の能力を考慮します。</p>